

株式会社ヨシダより
近藤 秀明

ヨシダグループ（株式会社吉田製作所、吉田精工株式会社、株式会社ヨシダ）は、1906年歯科機械メーカーとして誕生し、2016年に創業110周年を迎えます。これまで、日本の歯科医療発展のため、歯の切削器エアタービン、炭酸ガスレーザー、歯科用CTなど最新機器の開発に努めてまいりました。

しかし、成人の8割が罹患しているとされる歯周疾患が減少しないことも事実です。さらに「歯にトラブルがある」と自覚されているにも関わらず、通院しない人が8割いることも日本歯科医師会「歯科医療に関する一般生活者意識調査」から判明しています。

一方、近年歯周疾患が心疾患、脳梗塞、低体重児出産など全身にも影響を及ぼすことや、しっかりと咀嚼することによって認知症の予防ができること、口腔ケアをきちんとすることで誤嚥性肺炎予防になることなどが、多くの大学や研究機関のデータから明らかになっています。

弊社では「Dental Next Action 歯科医療の次の時代へ」をコンセプトに掲げ、予防歯科の推進、医科歯科連携の一步として、製品開発や講演会を行っております。これまでの「問題があるから通院する」ではなく、「トラブルがなくても、健康を維持・増進するために通院する」という、国民の歯科医療受診行動の変革をサポートできればと考えています。

妊娠中・小児の時期からむし歯にさせない環境づくりを行い、プロフェッショナルケア・健診を目的に通院することで、ご自身の歯を生涯にわたって維持することが可能になります。このためには、「痛くて怖いイメージのある歯科医院=行きたくない歯医者」のイメージを変え、どうしたら「行きたい歯医者さん」にする必要があります。例えば「ハピット」は歯科医院の待合室に置いていただく歯磨きステーションで、クイズに答えながらゲーム感覚で歯の知識を学べ、待ち時間も飽きることはありません。

成人の方には、より快適な空間で歯のクリーニングを受けていただけるようクッション性の高いチェアや、音や振動の少ないクリーニング機器の開発、またホームケア用品として「ソニックケア」の取り扱いをしております。

高齢者や在宅診療においては、医工連携事業のひとつとして「デンタパックココロ」を開発。コンパクトなため医療従事者が手軽に移動できる在宅ケア機器です。

「マウスリーブ」は就寝中の鼻呼吸を促す口閉じテープです。口呼吸は、ドライマウスその他、冷たい空気、埃、微生物がダイレクトに体に侵入することで、インフルエンザをはじめとする全身疾患への影響も懸念されています。また、口呼吸はいびきの原因となり、睡眠時無呼吸症候群にもつながります。

ヨシダグループは経営理念である「私たちは人々の健康と笑顔（Health&Happiness）を創造しつづける」ことを実現するために、患者さんにやさしい機械、歯医者さんが楽しくなる製品、口腔の健康を通じて全身の健康が促せる製品の開発・販売を行っています。国民の全身の健康をサポートするために、社員一人一人がDental Next Actionを起こし、新しいことにチャレンジしていきます。

●プロフィール

近藤 秀明

日本医歯薬アカデミー賛助会員

株式会社ヨシダ営業本部 大学部